

# 就職援護最前線、初のオンライン面接



新潟地方協力本部（本部長 1陸佐 大倉正義）高田援護室（室長 2陸尉 佐藤豊）は、10月20日（火）任期満了で就職援護を依頼した退職予定隊員の大野佑樹陸士長の面接試験を支援しました。大野陸士長は、首都圏に再就職を希望しており、志望する企業が東京都内にあることから新型コロナウイルス流行の現状を鑑みて、スマートフォンのビデオ通話機能を利用したオンラインでの面接受験を希望しました。高田援護室は、大野陸士長が集中して面接を受験できるように、就職相談室を面接場所として提供し、事前に表情の映り具合や背景の確認、面接予行等を含め入念にサポートしました。

当日、大野陸士長はスマートフォンの画面越しに面接官と接見し、面接では自分の長所などの自己PRから志望動機、取り分け営業職を希望した理由などについて質問を受け、大野陸士長は通常の面接と変わらない堂々とした態度で終始回答していました。約20分に及ぶ面接を終えた大野陸士長は「画面越しの面接は初めてで緊張したが、援護室の方々に手伝って頂いた結果、思う通りのことをしっかり話すことができた」と安堵の表情を見せていました。

新潟地本は、今後も新しい生活様式の中、最善の方策を考えながら退職予定隊員の希望に沿った親身な就職援護ができるよう、サポートしていきます。